

区分：人文・社会科学

授業科目名	社会と歴史（地域経済と生涯学習）				学期	曜日	校時
英語名	Society and History (Community Economy and Lifelong Learning)						
担当教官名	新田照夫	単位数	2単位	必修選択	選択	後期	水曜日 校時
授業のねらい・内容・方法							
<p>地域社会のシステムとそれを機能させている思想について学ぶ。本授業ではとくに、大学で学ぶ学生諸君の現実の立場から、社会学について考える方法を取る。なぜならば、その方が学生諸君の理解をより深めるのではないかと思うことから、地域社会のシステムの中で大学がどのような位置と役割を果たしているかという観点から、地域社会のシステムの構造について解明していきたい。</p>							
テキスト、教材等							
新田照夫著 『大衆的大学と地域経済 - 日米比較研究 - 』（大学教育出版）							
対象学生	成績評価の方法				教官研究室		
全学部	平素の課題レポートおよび出席状況などを考慮して行う。						
授業計画							
<ol style="list-style-type: none"> 1．地域経済の活性化と市民主体の「まちづくり」運動（実技分析） 2．地域の経済活動が生む社会関係と社会的規範（ハード分析） 3．「市民の主体形成」と「まちづくりの社会的規範価値」（ソフト分析） 4．社会関係を再編する市民会議の組織 5．結びつきを強めつつある地域経済の論理と大衆的大学の論理 6．地域再編と新しい社会的規範価値としての「個」 7．「個」の主体形成と、その基盤としての「社会的規範価値」 8．サービス業と商業の社会関係が形成する社会的規範価値と大学 9．地域経済の規範価値を創造するサービス業と「商業」 10．「サービス労働」がうむ「使用価値」としての「社会的規範価値」 11．「社会的規範価値」を再生産する拠点としての大衆的大学 12．サービス労働が含む新しい形態の労働力とそれが形成する社会的規範価値 13．地域の生産・文化・社会活動の中心としての大衆大学 							